



家族、友だち、みんな楽しんだ雪の祭典

冬のイベントとして長い歴史のある「富門華雪祭り」が2月10日、富門華グラウンドで開催されました。当日は気温が下がり寒さも一段と厳しくなりましたが、晴天に恵まれたこの日、家族連れなど町内外から多くの人々が訪れ賑わいました。



会場には関係者手作りの雪像や地元自衛隊の隊員が2週間かけて作った雪のすべり台も設置され、子供たちに大人気。ゲーム大会やスノーモービルの運行、また、綿飴・そば・焼き鳥・お汁粉など食べ歩きコーナーもあり参加者もおいしい食べ物に舌鼓を打っていました。

この他にもすずらん太鼓の演奏、YOSAKOIの演舞と内容盛り沢山。折しもこの日は札幌雪まつりも開催していましたが、富門華寮の人たちなどみんなの手作りである富門華雪祭りは家族や友達、仲間とのふれあいの大切さを体験することの出来る心温かく有意義なイベントと言えるでしょう。参加した人々も楽しさを満喫した一日となりました。



適切なレシーブと激しい攻防戦

2月24日追分小学校体育館で第2回安平町追分地区ミニバレーボール大会が開催され、8チーム50人が参加。

コートでは適切にレシーブする姿やネット際での激しい攻防戦が見られました。

結果は、優勝チームが『たまホーム』、準優勝は『大^{だいすう}四喜』、3位は『アクエリオン』でした。

地域を犯罪から守ろう、「さかえ自治会」に防犯活動団体として委嘱状

私たちの生活を脅かす犯罪や事件・事故を未然に防ごうと、日頃から防犯活動を実践している「さかえ自治会」（濱谷正毅会長）が町から地域防犯活動団体として委嘱され、2月7日、役場早来庁舎において瀧町長から委嘱状が交付されました。

これにより今後さかえ自治会では、防犯部（村田勝蔵部長）を中心に自動車に青色回転灯を装着しての地域見回り活動を展開することとなります。

凶悪化・低年齢化が進む事

件が多くなる中、こうした地域での取り組みに大きな期待が集まっており、町内において青色回転灯を装着してパトロールを行う事が許可されている団体はこの度のさかえ自治会で4団体目となります。



冬の寒さも何のその、雪の上でナイスショット！

冬のこの季節は体を動かす機会が少なく運動不足になりがちですが、冬ならではの軽スポーツの大会が催されました。本来雪の無い季節に行うパークゴルフの冬季版雪上パークゴルフです。コースは雪の上。追分の柏が丘球場内に造られた特設コースで2月11日、「安平町雪上パークゴルフ大会」が開催されました。大会には、町内はもちろん札幌市や苫小牧市、由仁町、厚真町など近隣市町からの参加者もあり、およそ60名が参加。参加者は主に50代から70代で、最高齢の選手は78歳。各選手は芝ではない勝手が違う雪上のコースにこれまでの経験と練習の成果を存分に発揮しようと優勝を目指してプレー。寒さも忘れ、真剣な中にも競技を楽しんでいました。なお、優勝は男性



の部が高田勝美さん（安平町追分）、女性の部は加藤洋子さん（由仁町）でした。